

第1学年国語科 学びのデザイン

日時 平成27年11月17日(火) 5校時

場所 1年6組教室

学級 1年6組(男子18名 女子16名 計34名)

指導者 横井 智子

1 単元名 校内放送におすすめの1曲を推薦しよう

教材名 「鑑賞して良さを表現しよう～CDジャケット～」(新しい国語1年 東京書籍)

2 本時の目標 (3/7時間)

(1) 曲の良さを伝えるために効果的な内容と構成を考えることができる。【書くことB(1)イ】

(2) 友達の構成について意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりできる。【書くことB(1)オ】

3 おもな授業の流れ

(1) 本時の学習活動を確認する。

(2) 本時の学習活動について、見通しをもつ。

学習課題

曲の良さが伝わる鑑賞文を目指し、内容や構成を考えよう。

・本時の学習課題の確認 ・学習の流れと学習形態、時間配分

(3) 曲の良さを考えるための観点を確認する。

観点

①歌詞について紹介したいこと

・描かれた情景や状況 ・伝わってくる気持ちやテーマ ・素敵な言葉づかいや表現の工夫

②歌詞以外で紹介したいこと

・自分の体験(曲との出会い・思い出など) ・お勧めの相手(どんな人、どんな気持ちの時に合うか)

(4) 曲の良さとして伝えたいことを箇条書きで書き出す。【作業的な活動】

(5) 伝えたいことを絞り、構成を考える。【作業的な活動】

(6) 考えた内容と構成について交流する。【小グループでの学び合い】【表現の交流と共有】

交流の視点

・曲の良さを伝える目的に沿った内容か。(歌詞のとらえ方・紹介したい要素が適切か)

・分かりやすく効果的な構成になっているか。

(7) グループ内で出た学びたい点を発表する。【表現の交流と共有】

(8) 本時の学習内容について振り返る。

①個人でまとめる ②全体で交流する

(9) 次時の学習を確認する。

4 指導にあたって

(1) 学級には、自分の考えを表現することに対して極端に時間を要する生徒がいる。困ったときには友達の作業の様子を参考にすることができるように、個人の作業の際にもグループ体制で活動させる。

(2) 目的に沿って材料の取捨選択を適切に行い、効果的な構成を考えることができるように、「曲の良さを伝える」という目的を再度確認して活動に入らせる。また、交流で学びが深まるように、視点を与えてから交流に入らせる。

(3) グループによる活動の後、全体で学びたい点について共有する活動を行う。自分の参考にして次時に生かせるよう、板書により提示する。